

英語を楽しく

☆ so と very のちがい

so と very の簡単な英単語。でも、使い方にちょっとした使い方のちがいがあります。

so = very ということで、

「彼女はとても美人です。」を She is so beautiful.

「私はとても疲れている。」を I'm so tired.

などの英文ができます。また、

「とても忙しかったので、その本が読めなかった。」

を I was so busy that I couldn't read the book.

と言いますね。



実は、so という単語を聞くと、英語圏の人は「so」の後に何か文章が続くと思うそうです。ですから、

She is so beautiful. とか I'm so tired. のような文を聞かされると、

「あれ？後に何も文がこない。なんだか中途半端な感じがする。」

となるのです。

そこで、so と very との使い分けを見てみますと下のようになります。

Very 単独で動詞を修飾しない	So 単独でも使える
He was <u>very</u> angry. It's <u>very</u> hot. 非常に・とても	I'm <u>so</u> glad to see you. <u>Thank</u> you <u>so</u> much. It was <u>so</u> hot that I couldn't sleep. 非常に・とても
This is the <u>very</u> book I want to read. わたしが読みたいのはまさにこの本だ。 強調の very	I think <u>so</u> . I told <u>so</u> . そう言った。 think / tell など+so (前文の内容を受けて) そのように Is that <u>so</u> . そうですか。 (前文の内容を受けて) そのようで
I <u>don't</u> sing <u>very</u> well. あまり歌が上手ではない。 I'm not <u>very</u> good at cooking. あまり料理が得意ではない。 [否定文で] あまり・対して	

女性は、「so」を「非常に」・「たいへん」という意味で使うことがあります。

very・soの簡単な単語にも深長な意味があるのですね。